

折り紙で彩る

# 源氏物語の世界

～千年の時空を超えて  
よみがえる雅な平安絵巻～

6月5日(日)～7月4日(月) 1階展示コーナー 9時～21時

光源氏をめぐる源氏物語全54帖に出てくる、人々の愛の物語が美しい折り紙の世界で表現されます。今回は、登場人物と時代背景をあらわした作品を一挙に展示します。



～折り紙展示作者のさげ～

北田久枝さん (NPO 法人男女共同参画おおた前理事長)



「女性の、女性による、女性のための物語」

今から千年前に実在した、華麗で優雅な貴族社会を描いた「源氏物語」は、日本が世界に誇る歴史的古典文学です。人間の愛、喜び、悲しみ、悩みなどをリアルに描き、人間性を深く洞察した女性たちの生き様は、現代の女性の生き方にもつながります。登場する女性たちの性格を一人ひとり引き出し、特徴をとらえた場面を、日本の伝承文化である折り紙で表現してみました。自分は何のタイプに当てはまるだろうかと考えながら読み解くことも、さらに源氏物語に面白さを加えるのではないのでしょうか。

◆展示作品の無料貸し出しを行なっています◆

「源氏物語折り紙作品」の貸し出しをしております(送料別)。詳しくはエセナおおたまで。

## カフェおひさま

エセナおおた1F

香り豊かな  
ひきたてコーヒー  
150円

夏はやっぱり  
アイスコーヒー  
200円

からだがやさしい  
ハーブティー  
150円

新商品  
抹茶オーレ  
200円

トースト各種  
150円～

おいしいお茶でおもてなし

営業時間: 11:30～17:00

営業日: 平日(月～金)

「ホッと一息」、みなさまのくつろぎの場になりますよう、  
ご来店お待ちしております! カフェおひさま スタッフ一同



～紙面リニューアルのお知らせ～

より多くの皆さまに手に取っていただけるよう、身近な話題を中心に「エセナおおた」の活動をお知らせする情報紙づくりをめざしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」

〒143-0016 東京都大田区大森北4-16-4

電話 03-3766-4586 03-3766-6587 FAX 03-5764-0604

e-mail [escena@escenaota.jp](mailto:escena@escenaota.jp) HP URL <http://www.escenaota.jp/>

メルマガ [escenaotamail@yahoo.co.jp](mailto:escenaotamail@yahoo.co.jp) 指定管理者 特定非営利活動法人 男女共同参画おおた



大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」情報紙

第37号

# INFORMATION エセナおおた

平成23年6月15日

## 現場ルポ 東日本大震災、岩手県宮古市への支援同行 女性たちのネットワークに感動

東北地方を襲った「地震」「津波」。その進行は私たちはリアルタイムでTVの画面を通して知ることができた。しかし、被災者はもちろんのこと、東北内陸部の人々は停電や電話等の不通ということもあり、沿岸部があのような惨状になっているとは2～3日間は知る由もなかったと聞いた。

岩手県盛岡市立もりおか女性センターの指定管理者であるNPO法人参画プランニング・いわての皆さんは、発災時から停電中の極寒のセンター内で沿岸部への支援を着々と準備した。

5月26日沿岸部へ出向くとの情報を得て、前日急ぎよ東京を出発し、同行させていただいた。

朝8時盛岡市内を出発、まず宮古市立総合体育館を目指す。道路はすいていたが現地まで約2時間。今日が2度目の訪問とのことで、紙袋をいくつも運ぶ。避難所入口で宮古市助産師会の方々、大学の看護学の先生と落ち合い、館内へ。

前回訪問したときにお約束した方を受付で呼んでもらい、一人ずつ紙袋をお渡りする。中身は頼まれたものでいっぱい。スニーカー、帽子、夏向きのズボン、ベスト、Tシャツと一つひとつサイズを確認しながら会話が進む。被災者の顔がだんだん笑顔になっていく。一人ずつの個別の対応に「こんなに暖かい支援があるだろうか」と感動した。

体育館の中では、看護学の先生がアロマオイルを使ってハンドマッサージをしながら、被災者とゆっくりお話をしていた。香りが辺りに広がり、何ともいえない空間になる。助産師さんたちも「いま困っていることはないですか?」と、一人ひとりに声をかけ、話を進めている。平日のお昼前、女性たちが



車窓からの景色は声も出ない。「かなり片付けられたね」と地元の方は言われたが、まだ住宅の間に大きな漁船がそのまま放置されており、私にはかなりショックな光景だった。

宮古市立グリーンピアはとても整備された避難所だった。女性にとっての配慮もいたるところで見られた。女性用の着替え室は、受付の脇にあり、受付を通らなければ入れない。トイレは入口がひとつで、いったん入って左右に男性用、女性用と分かれる設計なので、夜は入口に必ず人を配している。生理用品もトイレにふんだんに置いてあり、尿漏れパッドも用意されていた。相談チラシもあちこち目につく所に貼付されていた。各自の家(?)は段ボールで仕切られ、普通の目線では中が見えない設計。

助産師さんからの話だが、このごろになって少しずつ心のなやみ相談が出てきた。嫁姑問題も聞かれる。長期化によって中高生の男子のための部屋、若い夫婦のための別室も必要。今のところ性暴力の話は表面化されていないが、緊急用のピルは医療機関に配置してあるとも聞いた。往復の距離が長いので情報交換を深めることができた。

暗くなる寸前の新幹線にこらうじて間に合った、丸々一日かけた沿岸部への支援だったが、NPO法人参画プランニング・いわてのきめの細かい支援体制と、女性たちの連携がチームワークとなり、スムーズにバトンタッチされており、距離は離れていても、かかわるみんなの気持ちがひとつになった心のこもった支援を体験させていただいた。これからは、この貴重な経験を大田区内に避難されている方々に向けて生かしていきたい。 <文・撮影:青木千恵>



がホッとしている時間帯、会話が弾む。

それぞれ持参した昼食をすませ、宮古市でも被害の大きかった田老町へ向かう。

7月2日(土)午後2時より「エセナフォーラム講演会」で、もりおか女性センターの取り組みもお話していただけます。奮ってご応募ください。

◆区民のための区民の施設◆

大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」は誰もが自分らしく生きられる男女共同参画社会を実現するための大田区唯一の拠点であり、区民の皆さんの自主活動の場を提供しています。2004年(平成16)に大田区が指定管理者制度を導入し、NPO法人男女共同参画おおたが施設の管理と事業運営を受託しました。

全国の女性関連施設では初の指定管理者となり、今年度(2011年)から3期目として新たに5年間の指定を受け、“区民が区民のために区民が使いやすいセンターづくり”をめざしています。

講演会や映画会、女性の再就職を支援するための講座、男性の家庭参画セミナー、親子で参加できる催し、相談事業などを年間を通して開催しています。

JR大森駅東口からアーケード商店街(ミルバ)を横切り、徒歩8分ほどのところに位置し、開館時間は午前8時45分から午後10時まで、年末年始と年2回の全館清掃、害虫駆除日を除き、年中無休で開館しています。

◆できることを、できるかたちで◆

エセナおおたの事業運営に欠かせないのが120名超の登録がある「エセナおおたボランティア・スタッフ」の皆さんです。講座のチラシ等の印刷・発送作業、展示の設営、講座スタッフ等、さまざまな分野で大勢の方々が活躍されています。

エセナおおたで行なわれるすべての事業は、「大田区男女共同参画推進プラン」に則しており、身近なところから男女平等について考えるきっかけになるよう、さまざまな工夫を凝らした企画が盛りだくさん。中でも、毎年7月に行なわれる「エセナフォーラム」や、10月開催の「エセナフェスタ」は全館挙げての大イベント。配布物の準備やイベント会場の設営、受付、会場案内や駐輪場の整理など、あらゆる場面でスタッフの方々が奮闘。運営に関わる全てのスタッフ一人ひとりの力が集結し、イベントを盛り上げていくその姿は感動そのもの!「できることを、できる人が、できるかたちで」。そんな想いを大切に、エセナおおたは区民の皆さまとともに男女共同参画の地域づくりに貢献しています。

男女がお互いに人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別に関わりなく社会のあらゆる分野において個性と能力を発揮できる社会—これこそが私たちのめざす男女共同参画社会です。堅苦しい言葉かもしれませんが、誰もが自分らしさを大切に、その違いを認め合いながら、それぞれの活躍の場で輝いていける世の中にするために、「自分にできることは何か」を考えることが男女共同参画社会への一歩となります。

エセナおおたボランティア・スタッフ募集中!!  
お問い合わせは「エセナおおた」まで

# 大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」

「エセナ」とは  
スペイン語で  
「場面」「舞台」  
「ステージ」

自分らしさを  
見つける場

年間来館者数  
10万人超!



区民のための  
活躍の場

婦人会館から  
女性センターを  
経て30余年

## エセナおおたの 人気講座紹介

「女性のための課題解決能力向上セミナー」  
～論理的思考を身につけ発言する力をアップさせる～  
5月16日から毎週月曜日、全9回

昨年度大好評だったものを、さらにバージョンアップしたこの講座は、昨年度の参加者が企画員となり内容を検討した結果、論理的に物事を考え、相手に伝える話し方が苦手だと感じ、それを克服したいと思っている方が多いことがわかりました。そこで、将来大田区の審議会や政策決定の場に女性が参画するための土台作りとして、「論理的思考力を身につけ、発言する力をアップさせる」ことを目的とした内容にしました。



大評判講師の庄嶋孝広さん

第1回は、行政と市民団体の橋渡しなどさまざまな場で優れたファシリテーションをされている、庄嶋孝広さんに「発言力①～まずは発言する力、伝わる会話力を身につける～」と題し、講義をお願いしました。

・論理的発言をするには、「主張(結論)」と「根拠(理由)」を組み立てる。その際に大切なものが、「論拠(表に出てこない理由)」で、根拠が同じでも、論拠が異なると、主張が異なってくる。

・上記をうまく伝えるための発言(プレゼン)法として、PREP法がある。

P...Point(結論) R...Reason(理由) E...Example(具体例) P...Point(結論)

グループワークでは、「私の好きなもの」をPREP法を用いてプレゼンしました。

例えば、「(P)私が好きなことは、献血です。(R)好きな理由は、社会貢献ができると同時に自分にとってもいいことがたくさんあるからです。(E)例えば、健康管理になるし、会場ではジュースやお菓子、雑誌があり、出先での時間調整にぴったりです。(P)だから、私は献血が好きで、これまでに50回以上協力をしました」といった具合に、自然に実践することを身につけました。

この後も、「平等観・公平観を身につける」、「データを読み解く力」「ロジカルに議論する力」等を学習・実践し、課題解決能力をさらにアップさせていきます。乞うご期待!  
〈坂倉嘉余子〉



発言力アップに向けて真剣に講義を聴く受講者たち

自分と家族と社会を見つめ直す

# エセナフォーラム2011

7/2(土)～3(日)

今年は女流講師神田織音さんをお招きして、防災講談を語ってもらいます。また、東日本大震災後の被災地での取り組みを盛岡市女性センター長に、大田区の被災地支援のお話も、盛りだくさんのプログラムに。たくさんのご来場をお待ちしています。



日時:7月2日(土)  
14:00～15:30  
会場:エセナおおた  
定員:申込先着150人  
保育付き  
申込方法などの詳細は6月1日号の区報、チラシ等をごらんください。



そのほかフォーラム期間中は「エセナおおた」で色々なワークショップが開催されます。ベビーダンス、社労士に聞くパートタイム法、お父さんといっしょ!、カラーセラピー、マネープラン、朗読、コーチング、子育て支援、男性サークルなど…ぜひご参加ください。

## 「女へん」の漢字を調べてみよう! ～みなさんはいくつ思いつきますか?～

「女」という漢字の成り立ちは、象形として手を前に交え、裾をおさえて跪く女性の姿を表しています。(尊いものへの畏敬の形ともいわれる)

<女編の漢字が多いわけは?>

古来女性を表す漢字は「女」(若い女性)と「婦」(嫁いだ女性)の2種類ほどしかありませんでした。そこで他の漢字と組み合わせで新しい漢字がどんどん作られました。

<「好」という漢字の意味は?>

跪く女(母の形)が子を抱く形から作られた、婦人がその子を愛好することを示す字です。「東日本大震災で両親を失った子どもは、岩手、宮城、福島で合わせて130人に上り、このうちほとんどの子どもたちを親族が受け入れている」と、インターネット記事にありました。

その子どもたちが皆、母に代わって愛する親族の胸に抱かれ、夜は安らかに眠り、明日への力を蓄え、希望の道を進めるよう祈らずにはいられませんでした。

そんなことを考えさせられる「好」の一字です。

〈定池由紀子〉

